

第 6 回アジア土木技術国際会議(6th CECAR)参加報告

2013 年 8 月 20 日～22 日に、第 6 回アジア土木技術国際会議 (Civil Engineering Conference in the Asian Region : CECAR) がジャカルタで開催されました。本会議は、アジア土木学協会連合協議会 (Asian Civil Engineering Coordinating Council 以下 ACECC) の一大イベントであり、3 年ごとに開催されます。今回は、インドネシア土木構造工学会が運営を担当しました。

会議初日の開会式では、ジャカルタ協定の調印式も行われました。持続可能な未来に向けて、メンバー学協会が責任をもって活動していくことを誓っています。調印式には、橋本土木学会会長をはじめ、メンバー学協会の会長が一堂に会し、協定書に署名しました。



土木学会 国際センター
ACECC 担当委員会委員長
山口 栄輝



ジャカルタ協定調印式

発表は、基調講演、一般講演セッション、オーガナイズドセッションに大別されます。基調講演者の一人は、藤野陽三氏 (東京大学) であり、非常に多くの聴衆が集まりました。一般講演は公募に応じた研究発表で、運営委員会の審査を経た論文に基づいた発表です。合計 239 件のうち、43 件が日本からの発表でした。オーガナイズドセッションは、ACECC のメンバー学協会や技術委員会が企画・運営するものです。土木学会は、Asian Board Meeting、Tsunami セッション、ITS セッションの企画・運営に中心的な役割を果たしました。

ACECC はプロジェクト賞と業績賞を設け、アジア土木技術国際会議で表彰しています。今回は、中日本高速道路株式会社の「新東名高速道路の建設」が、プロジェクト賞の中でも特に優れたとされる最優秀プロジェクト賞の栄誉に浴しました。業績賞は、岡田宏氏 (第 86 代土木学会会長) が受賞しました。(写真 1)

本会議にあわせ、土木学会はインドネシア在住土木技術者との交流会、「バリ島緊急海岸保全プロジェクト」視察ツアーを企画し、好評を博しました。また、インドネシア土木構造工学会との協力協定の締結 (写真 2)、ネパール技術者協会との協力協定更新も行いました。

次回のアジア土木技術国際会議は、アメリカ土木学会 (American Society of Civil Engineers : 以下 ASCE) が運営を担当し、2016 年にハワイで開催されます。閉会式において、引き継ぎが完了し、ACECC 会長には ASCE の Yeung 氏、ACECC 事務総長には土木学会の堀越研一氏 (大成建設) が就任しました。

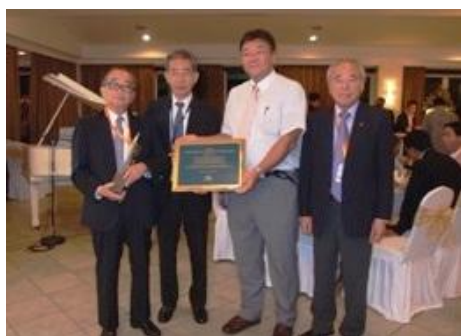


写真 1 ACECC 賞受賞者
岡田宏氏(左端) 中日本高速大川氏(右から 2 番目)

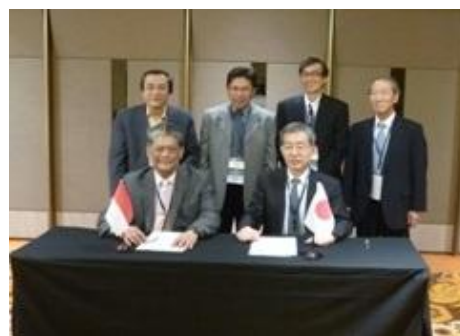


写真 2 土木学会とインドネシア土木構造工学会
の協力協定締結